

中国人向け土産開発／PRに仮想アイドル

食クラスター モデル4事業決定

道は24日、食品産業と1次産業、観光業などが連携して事業を興す「食クラスター」のモデルとして、中国人観光客が好む土産品の開発など、4事業を決めた。

食クラスターは道経連が発案、道はJ A北海道中央会などと連携し、本年度の目玉事業として推進している。道経済部によると、モデル事業は応募13件のうち独自性の高い4事が考案。中国人観光客

へのアンケートを基に商品を試作し、道内在住中国人の協力で、中国人が好む味も探る。苫小牧産のハスカップやシーベリー、伊達市大滝産アロニアのブランド化戦略は、地元の研究会などが発案。仮想アイドル「初音ミク」で知られる札幌の

ソフト開発販売会社「クリプトン・フューチャー・メディア」が、新しいキャラクターを制作し、商品をPRする。このほか、根室管内などのサケをかつお節状に加工した「サケ節」の普及促進を目指す事業や、百貨店の有名ハイヤーらの協力で道南や十勝、オホーツクならではの商品開発を進める事業が選ばれた。